

アナログゲーム 紹介

街コロ

街コロは、自分の街を発展させて4つのランドマークを完成させるゲームです。最初は麦畑とパン屋だけの街ですが、サイコロを振ってコインを集めることで少しずつ街を発展させていきます。どのサイコロの目が出ても収入を得られるように堅実に施設を建設するのか、収入の多い施設だけを建設して一獲千金を狙うのか、どんな戦略をたてるかは自分次第です。自分だけの戦略で、ライバルよりも早くランドマークを完成させよう！【2人～4人】



コードネーム

コードネームは言葉を用いて複数人で行うゲームだ。プレイヤーはエージェントとなり、敵のエージェントにバレないように味方とのコンタクトを取っていく。味方を探す手掛かりはスパイマスターが示すヒントとなる言葉だけ。その言葉は味方エージェントのコードネームに関係しているたった1つだけの単語となる。組織同士の言葉による情報戦を制し、敵よりも先に味方エージェント全員とコンタクトを取ることができるかな。【2人～8人】

12月以降の主な募集案内

せたがや大人図鑑
「アンディー先生！
どうしてお医者さんに？」
1/16 日 16:00-17:00

世田谷区内でクリニックを営むアンディーこと安藤先生にお越しいただき、仕事の内容や、医師になろうと思ったきっかけをお聞きます。もしかしたら白衣を着ることが出来るかも！

【対象】小学生～大学生世代の若者
【定員】15人
【要申込み】受付またはメールでお申し込みください。info@ups-s.com

アップスフェス
出演者募集
3/20 日
13:00-15:00/16:00-19:30

バンド・楽器演奏、ダンスや大道芸、お笑いなどのさまざまなパフォーマンスの出演者を募集します。

【対象】過半数が区内在住・在学・在勤の中学生以上の若者のグループまたは個人
【定員】12組程度（応募多数の場合は抽選）
【要申込み】受付またはメールでお申し込みください。info@ups-s.com
【締め切り】2022年1月31日（月）

楽しい
食卓プロジェクト
12/2・9・16 木
16:15-20:00

毎週木曜日に行っている、みんなで協力して買い出し、調理、食事、片付けを楽しむプログラム。メニューは食後のミーティングやアンケートで決めています。

【定員】10人
【受付】当日受付
【材料費】200円程度
※小学生は保護者同伴か、お迎えがあれば参加可能。

スタッフ紹介



小関 直人 オゼキ ナオト

東京生まれ。何十年も前のことです。が学生時代はバスケットをやっていたので、アップスのスポーツプログラムで若者たちがバスケットをやっている姿を見るとワクワクします。もう一度運動をはじめてみようという気持ちになりました。休みの日などは健康のため自然の中を歩き、喫茶店などでコーヒーを飲みながら読書するのが好きです。美術館で絵と出会うことも楽しんでいます。のんびりした性格ですが是非声をかけてください。

田中 晴彦 タナカ ハルヒコ

今年7月に36年間勤めた会社を定年退職し、8月末よりアップスでお世話になっている田中晴彦です。会社員時代は国際物流の会社で国内、海外の港や空港で長年勤務していましたが、定年退職後は是非地元である世田谷で何かお役に立てる事があればと考えアップススタッフの募集に応募いたしました。趣味はトライアスロンで水泳、自転車、ランニングのトレーニングを近所でもやっていますので、その姿を見掛けましたら是非お声がけください。



世田谷区立希望丘青少年交流センター
「アップス」

Access
〒156-0055 世田谷区船橋 6-25-1 3F
HP
<https://ups-s.com/index.html>
Twitter
@ups_setagaya
Tel
03-6304-6915
Fax
03-6304-6916



▲HPはこちら

アップス PRESS

家にも学校にもないものを。

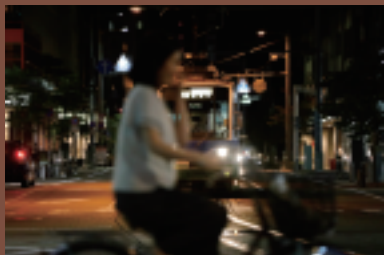
12
December 2021



展示者の声

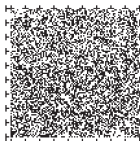


ギャラリーに飾られている写真を見て、存在を知り写真を展示しました。展示をしたことで写真を撮ってほしいと撮影の依頼が来たり、話したことのない人と関わる機会ができたりと、ギャラリーを通して色々なつながりができました。【R.A】



GALLERY

学習室に続く廊下にあるギャラリー。これまでは若者が撮った風景や動物、電車の写真を展示してきました。写真に限らず、絵やイラストなども、もちろん OK。自分が表現したいものをみんなに見てもらおう！展示期間は2～3週間です。詳しくは受付かスタッフまで。



アップス縁日

チラシ作成

今回のチラシは、アップスを利用している若者がデザインしました。文字のバランスや浴衣の模様など、細かいところまでこだわって仕上げました。水彩絵の具を使用して色を塗り、最後まで丁寧に制作してくれました。



アップス縁日は、主にアップスで活動をしている若者たちが、地域の方々に日頃の感謝を伝えることを目的にしたお祭りです。また、子どもたちとの関わりや現金を使ったお店の運営によって、若者の成長や実社会に近い形で仕事をする機会につなげています。今年は新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら、11月3日(水・祝)に開催しました。

出店に向けての準備

出店するグループは、当日に向けて少しずつ準備を進めていきました。大学生世代のグループは、細かい部品づくりやプログラミングを行い、1から自分たちでゲームを作り上げていました。他の若者も、ゲームのシミュレーションをしながらルール決めや道具の修正を行っていました。のぼりは、店名などを書いた手作りの模造紙を一つ一つのぼり竿に取り付けました。館内も装飾をして、当日が近づくにつれて賑やかになっていきました。



縁日当日

今回のアップス縁日は、地域のお祭りが中止になるなか、新型コロナウイルス感染防止対策のため3部制・各回定員100人・事前チケット制などさまざまな制限を設けて開催しました。募集開始から数日ですべての部が満員御礼となり、浴衣姿で参加してくれた子どもたちを見て、アップス縁日を楽しみにしてくれていたことが伝わってきました。

アップスと地域体育館に設営されたお店は11店舗。大学生世代が中心となり、ボーリングや釣りなどのゲーム系から手作りの漫画・アクセサリを売るお店など、さまざまなお店が並びました。ヨーヨーつりに何度も挑戦し、たくさんのヨーヨーを手にとら下げている子どもたちは、「取った!」と得意気に見せてくれました。楽しいお話と引き換えに似顔絵を描いてくれるお店では、「さっきは混んでいたから改めて来ました」という人があるほど大きな反響がありました。



カフェでは、アップス縁日限定で4種類のスムージードリンクを販売。P-workの若者が試作やポップ・メニュー表などを作成し、当日のドリンク作りも担当しました。お客さんからは「美味しかった」という感想もいただき、P-workの若者も喜んでいました。

普段、アップスでは未就学の子どもたちと交流する機会がなかなかないため、アップス縁日のような催しは若者にとって新鮮で貴重な経験ができる機会になりました。地域の方々のご協力もあり、活気に満ちた時間となりました。ご来場くださったみなさま、本当にありがとうございました! 来年のアップス縁日は8月に開催する予定です。お楽しみに!

参加者の声



新型コロナウイルスの影響でいつも参加している展示会がオンラインになった時、アップスから声をかけていただき出店を決めました。1からのものづくりだったため、突然動かなくなることもあり苦勞しました。子どもたちは手厳しかったですが、楽しんでもらえたようで何よりです。
【Tofunorogy】



以前からフリーマーケットやバザーなどのイベントに参加したいと思っていて、出店してみようかなと思っていました。あまり慣れていない手芸は大変で、出店するまでは自分の作品が売れるか不安でしたが、たくさん売ることができて楽しかったです。また今回のようなイベントがあれば参加したいです。
【手づくり屋かめ】

さまざまなイベントが中止になっていたので、2年ぶりのアップス縁日は参加したいと思っていました。ビンのペットボトルに何を入れるか中々決められず、準備がぎりぎりになってしまい大変でしたが、当日は楽しむことができたので、来年も機会があれば参加したいと思いました。
【ボーリングたろちゃん】



お祭りが好きで、仲間を誘って出店しました。本を出している日々のイベント参加の経験を活かしたり、あまりお金をかけないよう自宅にあるもので製作するなど工夫をして準備をしました。当日は、子どもたちと触れ合うことができて楽しかったです。リサーチにも役立ちました。
【オムライス食べたい】



アップス縁日には、講義の一環として参加しました。使用する道具の作成や景品など準備するべき数を決めるのが大変でしたが、当日は予想以上の来訪者があり、かなり賑わっていた印象で楽しかったです。また、ヨーヨーに絵を描いたりして、子どもたちに選んでもらえて嬉しかったです。
【日本大学社会福祉学科3年有志】



アップスでインターンをしている時に誘ってもらい、ねつせた!の宣伝もできると思い、出店を決めました。当日は途中からの参加でしたが、遊びに来ている子どもたちが準備を手伝ってくれて嬉しかったです!思っていたよりも、多くの子どもたちと触れ合えて元気をもらえました!
【情熱せたがや、始めました】

アップスの運営委員会に出席した際、今年は縁日があると伺いぜひ地域として参加させていただきたいと思いました。お客さんの人数が読めず、どれくらいの景品を用意したらいいかなど検討しました。思っていたよりも子どもの来場が少なく残念ながら赤字でしたが、久々のイベントで楽しめました。
【船橋希望中有志】



アップスとは協力・連携関係を大切にしていきたいと思っており、声をかけていただき出店しました。ゲームのお店が多かったため、ゆったり過ごせる乳幼児コーナーを行うことにしました。それぞれ工夫を凝らしていたゲームのお店は参考になりましたし、当日は満員でよかったです。
【船橋児童館】



アップスの職員からお誘いを受け、学生みんなで出店することを決めました。バルーンを飛ばすように工夫したり、大量にバルーンを作るのが大変でした。当日は忙しくとても疲れましたが、皆が楽しんでくれてよかったです。また、100点以上が2人も出て驚いたのと同時に、とても嬉しかったです。
【たからばこ】



ボールがあちこちに飛ばないように工夫をしたり、見た目も楽しくなるように飾りました。ゲームの道具が壊れそうになった時は焦りましたが、想像以上にたくさんの方にお越しいただき楽しんでもらえました。普段接することがあまりない小さな子どもと関わることができ「やってよかった」と思いました。
【インターン】